

2023年度研究業績報告

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2024-02-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000107

2023 年度

研究業績報告

(50 音順)

大 門 耕 平

学会発表

- 「生徒会広報誌を用いた中学生へのいじめ防止教育の効果の検証」, 大門耕平, 荻本竜也, 来田宣幸, 日本応用心理学会 第 89 回大会 (亜細亜大学), 2023 年 8 月 26 日～27 日
- 「学校いごち度アンケートを用いた生徒支援の実践」 Practice of student support using the school-environment-comfortability scale. 駒田淑久, 大門耕平, 来田宣幸, 日本教育実践学会 第 26 回研究大会 (上越教育大学), 2023 年 12 月 2 日～3 日
- 「英語教育におけるラウンドシステムの導入が中学生の英語への意識および成績に与える影響」 Influence on Students' Motivation and Grade of English by Round System in JHS Education. 大門耕平, 荻本竜也, 来田宣幸, 日本教育実践学会 第 26 回研究大会 (上越教育大学), 2023 年 12 月 2 日～3 日

川 島 堅 二

著書

- (監修) 『私が「カルト」に一ゆがんだ支配はすぐそばに』 日本キリスト教団出版局, 2023 年 6 月

論文

- 「いま日本社会に求められる宗教リテラシーについて」 『生活経済政策』 No. 323, 2023 年 12 月, p. 12-16

書評

- 大宮司信 『宗教精神病理学』 弘文堂 2020 年 東北学院大学キリスト教文化研究所紀要第 41 号, 2023 年 6 月, p. 91-97

エッセイ (連載)

- 「宗教リテラシーとは何か (2)」 『キリスト新聞』 2023 年 5 月 1 日号
- 「宗教リテラシーとは何か (3)」 『キリスト新聞』 2023 年 7 月 1 日号
- 「宗教リテラシーとは何か (4)」 『キリスト新聞』 2023 年 9 月 11 日号
- 「宗教リテラシーとは何か (5)」 『キリスト新聞』 2023 年 11 月 11 日号

学会発表

- 「宗教の社会病理現象とそれを対象化する学問の構築について」 日本社会病理学会第 39 回大会テーマセッション「宗教現象の現在と社会病理—新宗教をめぐる問題を中心に」 2023 年 9 月 6 日, 立教大学

講演等

- 「今, 求められる宗教リテラシーについて」 東北学院大学同窓会 TG 十五日会講演, 2023 年 4 月 14 日
- 「大学生と宗教リテラシー—特にカルト予防の観点から」 上智大学キリスト教文化研究所主催公開シンポジウム「現代社会の分断と宗教／カルト—大学生における〈生存〉の危機と救い」 2023 年 6 月 10 日
- 「カルト宗教になぜ入信するのか, 身の守り方」 聖ウルスラ高校全学講演会, 2023 年 6 月 28 日
- 「カルト—いま私たちに問われていること」 日本基督教団「教師継続教育研修会」 2023 年 8 月 1 日

「キリスト教学校における宗教リテラシー教育の実践について—とくにカルト予防の観点から」キリスト教学校教育同盟第 67 回全国・第 64 回関西地区大学部会研究集会発題, 2023 年 9 月 4 日
「宗教とカルト—違いは何か」学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座, 2023 年 9 月 16 日
「日本人とカルト—日本伝道の問いとしてのカルト問題」東京神学大学日本伝道研究所公開講演会, 2023 年 12 月 5 日
「救い主の誕生」宮城学院女子大学クリスマス礼拝説教, 2023 年 12 月 7 日

木村 純二

論文

「歌語としての「みたま」(六)」, 『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』第 28 号, 2024 年 3 月

学会発表

「美と徳の狭間—風流をめぐる—」, 第 74 回日本倫理学会大会ワークショップ「徳倫理学ワークショップ 6—西洋との対話で考える日本の徳」, 2023 年 9 月 29 日, zoom 開催

講演

「「この私」として生きるということ—宗教思想に学ぶ人生の知恵—」, 東北学院大学・多賀城市連携市民公開講座, 2023 年 6 月 20 日, 多賀城市市民活動サポートセンター

椎名 雄一郎

著書・CD

・『オルガン・リサイタル—習志野文化ホール 2023』, コジマ録音, 2023 年 7 月

論文

・「J.S. バッハのオルガン観——ミュールハウゼンの「オルガン改修計画書」をめぐる——」, 『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要 41』, p. 23-45

講演会・演奏会

- ・オルガン・リサイタル～バッハの源流をたずねて Vol. 2～, 於東京カテドラル聖マリア大聖堂, 2023 年 6 月 5 日 (月)
- ・第 3 回パイプオルガンセミナー～J.S. バッハ『オルガン小曲集』その③～, 於大名クロスガーデン, 2023 年 5 月 20 日
- ・パイプオルガン プロムナード・コンサート vol. 174 「オルブラ」, 於宮崎県立芸術劇場アイザックスターンホール, 2023 年 06 月 24 日
- ・オルガンリサイタル, 東北学院大学宗教音楽研究所, 於東北学院大学押川記念館ホール, 2023 年 7 月 8 日 (土)
- ・「バッハのオルガン観」, 東北学院大学文学部総合人文学科公開講座, 東北学院大学ホーイ記念館ホール, 2023 年 7 月 15 日
- ・第 4 回パイプオルガンセミナー～J.S. バッハ『オルガン小曲集』その④～, 於大名クロスガーデン, 2023 年 9 月 2 日
- ・「スウェーリンクからバッハへ」, 聖グレゴリオの家「オルガンに親しむ一日②」, 於聖グレゴリオの家, 2023 年 9 月 23 日
- ・仙台黒松教会パイプオルガンコンサート, 日本キリスト教会仙台黒松教会, 2023 年 09 月 17 日
日時: 2023 年 10 月 29 日 (日) 14:00 開演
- ・「アドヴェントに備えて」, 第 19 回市川三本松教会オルガンコンサート, 日本キリスト教団市川三本松教会, 2023 年 11 月 26 日
- ・オルガンクリスマスコンサート, 於神奈川県民ホール小ホール, 2023 年 12 月 16 日

田 島 卓

講演

「モーセ五書研究史と最近の旧約聖書学のトレンド」, 「申命記主義と歴史書の問題」, 「危機文学としての旧約聖書: 苦難と嘆きにどう向き合うか」, 日本ナザレン教団教職セミナー, 於 L stay & grow 晴海, 2023 年 10 月 24-25 日

解題

浅野順一『予言者の研究』講談社学術文庫, 2023 年 4 月, 250-256 頁

書評

田中光『新しいダビデと新しいモーセの待望』(教文館, 2022 年, 600 頁), 日本基督教学会編『日本の神学』第 62 号, 2023 年 9 月, 118-123 頁

出 村 みや子

論文

「オリゲネスの『ケルソス駁論』における護教論的意図とその多文化主義的文脈」, 『東北学院大学キリスト文化研究所紀要』第 41 号, 2023 年 6 月, 47-60 頁

学会発表

“Christianity and Roman Civic Duties in Origen’s Contra Celsum” in the 13th Asia-Pacific Early Christian Studies Society, at Trinity Theological College (Singapore), 7 September 2023.

書評

戸田聡『古代末期・東方キリスト教論集』, 『日本の神学』第 62 号, 2023 年 9 月, 136-139 頁

その他 (「本・批評と紹介」)

金子晴勇『キリスト教思想史の諸時代 別巻 I アウグスティヌスの霊性思想』, 『本のひろば』1 月号, 2024 年 1 月, 18-19 頁

原 田 浩 司

書評

『大災害の神学—東日本大震災国際シンポジウム講演録』(藤原淳賀篇, キリスト新聞社, 2022 年), 『季刊教会』131 号, 日本基督教団 改革長老教会協議会 教会研究所, 76 頁

藤 野 雄 大

論文

「19 世紀アメリカのプロテスタント教会における反カトリック主義とフィリップ・シャフの『プロテスタントの原則』の歴史的意義—ドイツ改革派教派誌 Weekly Messenger 誌上における論争を中心に—」, 『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要』第 41 号, 2023 年 6 月発行

「マーサーズバーク神学の教会論と教会史研究の結びつき: 「教会論的疑問」を巡って」, 『歴史神学研究』第 7 号, 2024 年 1 月発行予定

「チャールズ・G・フィニーの罪人の回心と完全なる聖化 (entire sanctification) に関する考察」, 『人文学と神学』第 21 号, 2024 年 2 月発行予定

吉 田 新

学会発表・講演

「日本語版 BasisBibel の可能性について」, 第 4 回日本聖書翻訳研究会 (東京), 2023 年 8 月 30 日
Die christliche Botschaft in der buddhistischen Kultur Japans. Der Umgang mit Trauer und Leid im Christentum und Buddhismus, Internationale Hochschule Liebenzell (Germany), 2023 年 11 月 2 日
Sprache und Mission — Die Übersetzungsstrategie der Bibel und Missionsstrategie in Japan, Internationale Hochschule Liebenzell (Germany), 2023 年 11 月 2 日

「大正改訳聖書翻訳資料について」, 神戸女学院大学学内共同研究「松山高吉研究—神戸女学院所

蔵聖書翻訳資料を中心に」, 2024年1月9日, zoom開催

その他

「新約テキストの新たな解釈の道標 書評 住谷真『烈しく攻める者がこれを奪うⅡ新約学論文・講演集』一麦出版社2023年」, 『本のひろば』788号, 2023年8月, 28-29頁

「大いなる「しかし」の書としての第一ペトロ書 書評石田学『第一ペトロ書を読む 釈義と説教』新教出版社2023年」, 『本のひろば』789号, 2023年9月, 10-11頁

渡邊有美

論文

「スポレート大聖堂と典礼——図像における音楽表現と銘文——」『東北学院大学 宗教音楽研究所 紀要』27, 2023年3月, pp. 1-10.

講演

「マリア崇敬——ロレートの『聖なる家』と『受胎告知』を中心に——」2023年度東北学院大学文学部総合人文学科公開講座, 2023年7月15日

渡邊蘭子

論文

「墮罪後の欲望における意志的側面—アウグスティヌス『三位一体』10-12巻の分析—」, 東北学院大学論集, 『人文学と神学』第21号(23年度内発行予定)

学会等発表

「キリスト教と夢—アウグスティヌス」, 第21回西洋古典学連携共同研究会, 2023年11月23日